

学生意識調査2023【学修時間調査結果】

「学生意識調査」について

この調査は、本学における教育改善、学生支援のために、学生の 日ごろの 意識や学習スタイルを調べるものです。以下にあげる質問の内容をよく読んで、調査にご同意いただける方はお答え下さい。この質問紙の回答には正解や不正解といったものはありませんので、あまり深く考えず自分の思うままにお答え下さい。

プロジェクト 責任者:

FD・SD推進委員会委員長 杉原 一臣(環境情報学部 経営情報学科)

email: sugihara@fukui-ut.ac.jp

● 回答の利用目的について

1. 回答に統計的処理をした後グループ化を行い、どういった意識や行動をしている学生がどの程度存在しているかを把握し、大学の教育改革や学生支援改善に反映させます。
2. 上記のグループ化した結果、回答者がどのグループに属しているか等を回答者に報告し、就職活動の自己分析等に役立てます。

将来希望する勤務地

問0: 将来希望する勤務地について選んでください(現時点での希望で構いません)。(選択必須)

1. ☐ 福井県内
2. ☐ 福井県外
3. ☐ 特にこだわらない

教育に対する満足度

問1: あなたは本学の教育に満足していますか。もっともあてはまるものを選んでください。(選択必須)

1. ☐ 満足していない
2. ☐ あまり満足していない
3. ☐ どちらとも言えない
4. ☐ まあまあ満足している
5. ☐ 満足している

●学修時間の集計に用いた調査は、7～8月に本学で実施された「学生意識調査2022」の回答を集計したものである。
同調査の設問項目は、フレックス(福井県大学間連携プロジェクト)で企画・実施されたものを踏襲している。

学生意識調査(抜粋)

学生生活の充実度

問2: あなたの学生生活は充実していますか。もっともあてはまるものを選んでください。(選択必須)

1. ☐ 充実していない
2. ☐ あまり充実していない
3. ☐ どちらとも言えない
4. ☐ まあまあ充実している
5. ☐ 充実している

1週間あたりの活動時間

問3: あなたは、前年度の授業期間中、次の活動にどれぐらいの時間を費やしましたか。

1週間あたりのおよその合計時間数としてもっともあてはまるものを選んでください。

(例) 平日(月曜～金曜)毎日2時間アルバイトを行っていた 5(日)×2(時間/日)=10時間

⇒「6～10時間」を選択

(1) 授業(学内外での実験や実習も含む)に参加する

(2) 授業に関する勉強(予習や復習, 宿題・課題など)をする

→ 予習・復習時間

(3) 授業とは関係のない勉強(資格取得など)に自主的に取り組む

→ 資格取得勉強

(4) 友達(同性, 異性を含む)と遊ぶ

(5) 留学生と交流したり, 自主的に語学を勉強したりする

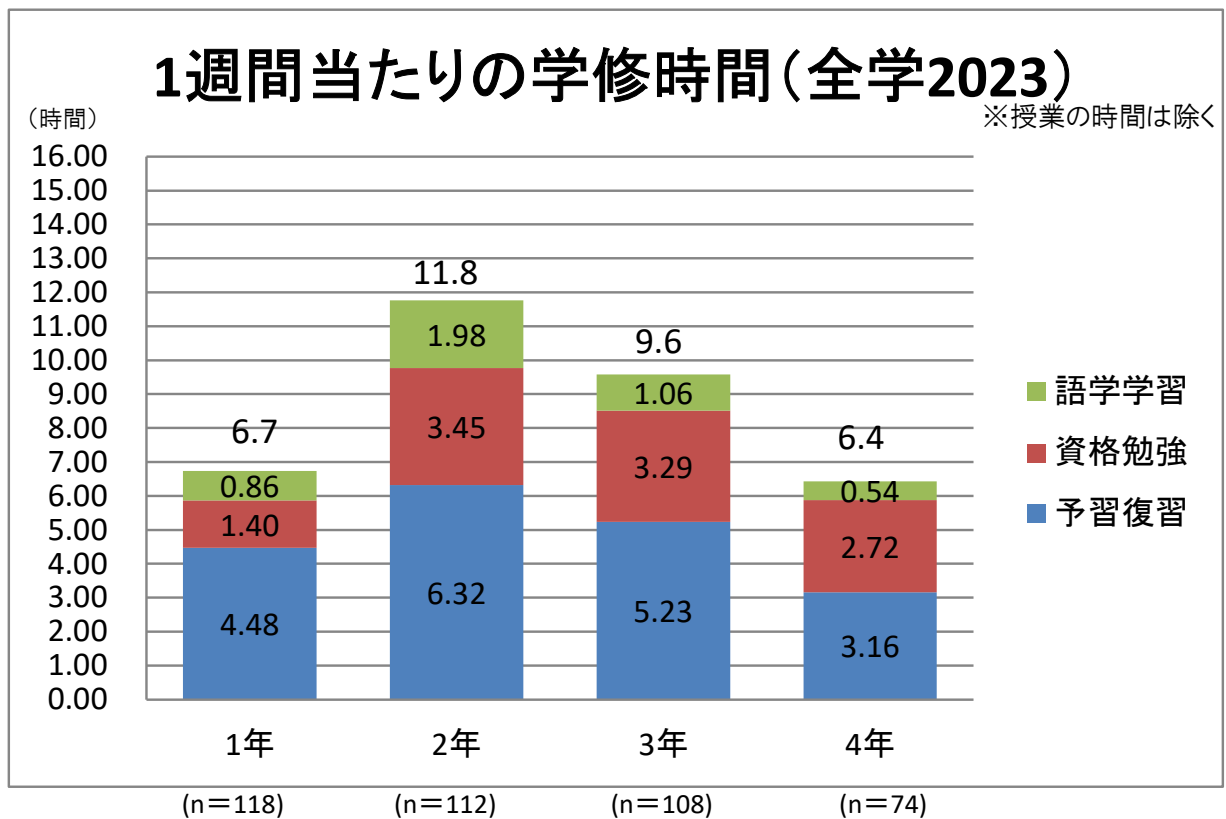
→ 語学学習時間

(6) クラブ・サークル・部活動をする

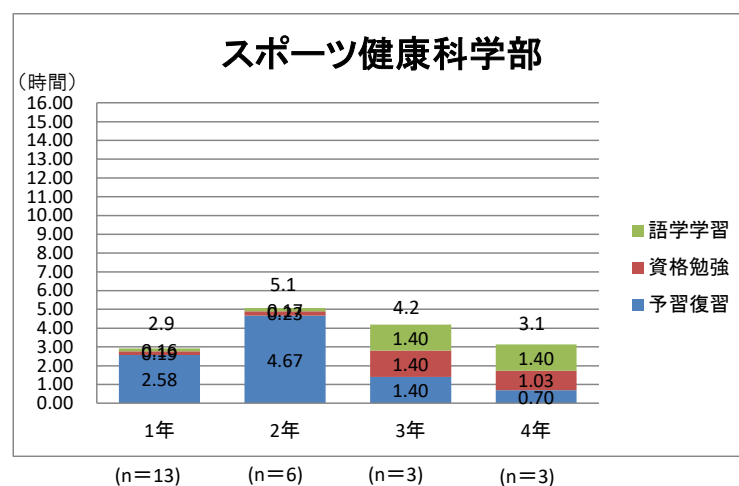
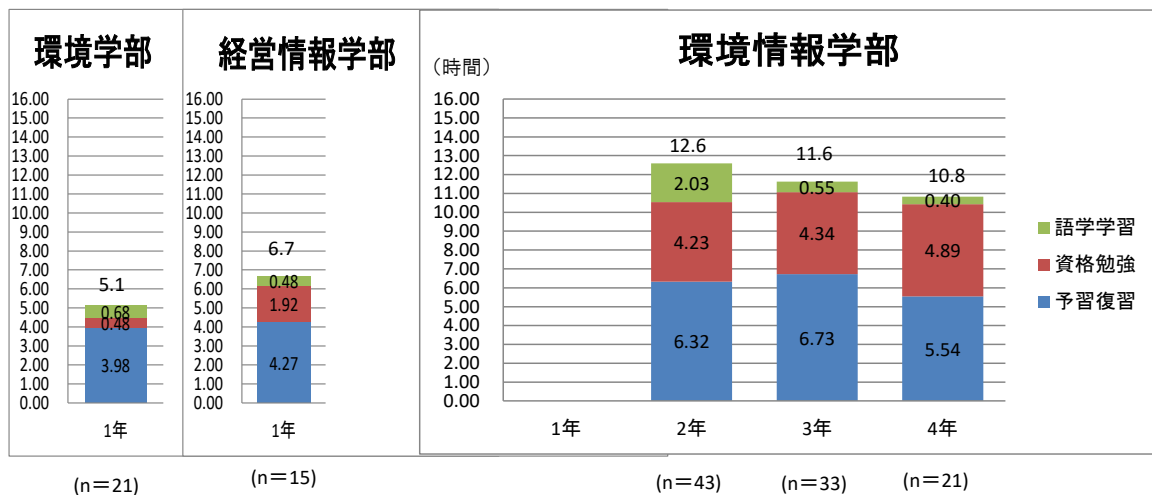
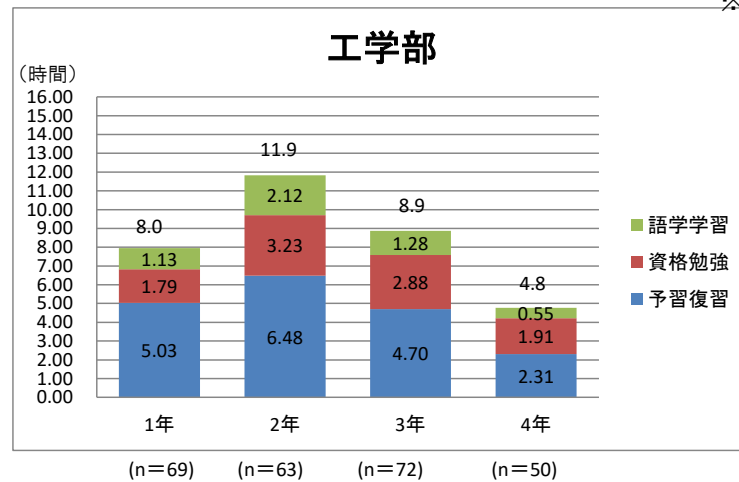
上記3項目の合計を
1週間当たりの学修時間
として集計

学修時間分析 ～1週間当たりの学修時間～



1週間当たりの学修時間 ～学部ごとの比較～

※授業の時間は除く



■ 青 .. 予習・復習
■ 赤 .. 資格取得勉強
■ 緑 .. 語学学習

1週間当たりの学修時間 ～初年次、上級年次の比較～

